



2023年5月12日

各位

会社名 東京製綱株式会社
代表者名 代表取締役社長 原田英幸
(コード番 5981 東証プライム市場)
問合せ先 取締役執行役員総務部長 喜旦康司
(TEL. 03-6366-7777)

2023年3月期連結業績と業績予想の差異、並びに
個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月9日に公表した2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結業績予想と本日開示いたします「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績実績に差異が発生しましたことから、また、通期個別業績においても前期実績値との差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月通期連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年2月9日発表)	百万円 67,000	百万円 2,600	百万円 3,100	百万円 2,200	円 銭 136.40
実績(B)	67,135	3,305	3,653	3,783	233.38
増減額(B-A)	135	705	553	1,583	—
増減率(%)	0.2%	27.1%	17.8%	72.0%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	百万円 63,780	百万円 1,621	百万円 2,021	百万円 1,306	円 銭 81.08

【差異が生じた理由】

前回発表予想に対して、主に第4四半期会計期間における鋼索鋼線関連や開発製品関連の事業が堅調に進捗し、工場の操業度も向上した結果、営業利益、経常利益が改善しました。これに加え、親会社株主に帰属する当期純利益については、今後の業績見通し等を踏まえた繰延税金資産の回収可能性に関して慎重に検討した結果、繰延税金資産の計上により法人税等調整額(益)を計上する等の影響があり、当初予想を大幅に上回りました。

2. 2023年3月期通期個別業績と前期実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(2022年3月期) 実績(A)	百万円 37,877	百万円 856	百万円 1,778	百万円 1,068	円 銭 66.30
当期(2023年3月期) 実績(B)	39,766	1,919	2,788	2,523	156.66
増減額(B-A)	1,889	1,063	1,009	1,454	—
増減率(%)	5.0%	124.2%	56.7%	136.2%	—

【差異が生じた理由】

諸資材・エネルギー価格の高騰に対して実施した製品価格の改定や、高機能開発製品の拡販等により、収益が改善したほか、前期決算では関係会社株式評価損の特別損失を計上した影響もあり、当期純利益は、前期実績に対して大幅な改善となりました。

以 上